

福利厚生施策の在り方に関する研究会（第5回）議事要旨

1 日 時 平成21年11月12日（火）16時00分～17時10分

2 場 所 総務省10階共用会議室2

3 出席者

（有識者）：西久保座長、浅野委員、河本委員、川上委員、武石委員

（総務省）：笹島人事・恩給局次長、三上研究官、山岸参事官、中澤総務課調査官

4 議事次第

(1)開会

(2)第4回研究会の検討結果の確認

(3)福利厚生施策の在り方に関する研究会報告書について

(4)その他

(5)閉会

5 議事概要

(1) 福利厚生施策の在り方に関する研究会報告書の構成等について

- ① 「Ⅱ 福利厚生をめぐる現状」は「国家公務員をめぐる現状」とする。また、「Ⅲ 民間における福利厚生施策の現状」と「Ⅳ 国家公務員における福利厚生施策の現状」を入れ替える。
- ② 「Ⅲ 8. 民間におけるメンタル不調者の状況」と「Ⅲ 7. 今後の福利厚生の方向性」と順番を入れ替える。
- ③ 「Ⅲ 8. 民間におけるメンタル不調者の状況」には、「民間でのメンタル不調の実態、取り組み状況」を報告書に記載する。
- ④ ワーク・ライフ・バランスについては、福利厚生ではないという議論もあるが、近接分野として、民間の動きとして報告書に記載することも検討。
- ⑤ 国家公務員の福利厚生理念体系モデルについて議論し、次回に各委員の意見を持ち寄ることとした。

(2) 次回は12月17日（木）16時から開催する旨の連絡を行い閉会した。

以上

なお、以上の内容は、事務局である総務省人事・恩給局福利・厚生制度担当の責任において作成した速報版であり、事後修正の可能性がある